



関西玉翠会

関西玉翠会会長
樋口 順一
(昭和34年卒)



東京玉翠会第34回総会の開催を心からお慶び申し上げます。

平素は、関西玉翠会の活動に対し何かと温かいご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

今年の関西玉翠会総会は10月22日（土）に「ホテルグランヴィア大阪」にて開催の予定です。総会担当は昭和60年卒の50歳になる同期生が年度幹事として総会を企画運営しています。

総会のテーマは、ふるさと香川そして母校への想いを込めて、「故郷（ふるさと）へ架ける橋 ～あのころにおいでまい～」を設定しています。

青春を過ごした母校でのこと、ふるさとのこと、同窓会で語られる思い出話は尽きません。思い出とは、単に記憶にあるのではなく心に残っているものです。心と身体を育んでくれた故郷への思いはまた特別です。関西玉翠会の集いの場が、関西とふるさとを結ぶ架け橋となることを願ってのテーマです。

総会は、母校をはじめ多くの方のご協力により運営されています。大阪香川県人会にもお世話になっています。同会は、明治30年創立の伝統を誇る県人会で、そこに関西香川県高等学校同窓会連絡協議会があります。

平成28年2月現在24校が入会しています。2016年、「第9号大阪香川県人会誌」の高校同窓会通信のページには、大手前高等学校とともに高松高等学校関西玉翠会の記事が掲載されています。

集いの場では、私たちは人と人のつながりの中で生きていることを教えてくれます。そのつながりは現在だけではなく、将来に向かって後の世代の人達に望みを託そうとする働きを持っていることにも気づきます。

高松の玉翠会本部を中心として、各地域の玉翠会の活動が毎年活発に行われていることは、母校の伝統とふるさと香川の風を未来に向かって送り続けていると言えます。関西玉翠会も皆様のお力添えをいただきながら、関西ならではの活動に努力してまいりたいと思っています。

終わりにになりましたが、東京玉翠会の益々のご隆盛と会員の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。